

# 伊那民報

発行：日本共産  
党伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72-2465  
HP：jcp上伊那

## 秘密保護法案廃案に！

国民の目、耳、口をふさぎ、国民の基本的な人権を蹂躪する悪法「秘密保護法案」が、26日夜、自民・公明・みんなの党の賛成多数で衆院本会議で可決されました。怒りの声をさらに大きくして、憲法違反のこの法案を参議院で廃案にするしかありません。

### あなたも狙われ、逮捕も

政府は「公務員から秘密が漏れるのを防ぐため」と説明しています。ところが最近、秘密を知るところ話し合ったり（共謀）、他人に勧めたり（教唆）、他人に働きかけたり（扇動）すると処罰されることが明らかになってきました。問題は、国民には「何が秘密かもミソ」のまま警察から同行を求められたり、逮捕さ

れたりすることです。

### 知らぬ間に裁判や監視を

逮捕されても、その理由もわからない。逮捕状にも捜査令状にも犯した罪が書かれませんが、秘密だからです。起訴状にも罪の内容は書かれませんが、弁護士も、裁判官も知らずとすれば逮捕・有罪の認定をつけてしまいます。

### 戦争する国づくしがねえ

政府は、アメリカとの秘密を共有するためにこの法律が必要と言います。2003年に日本は、アメリカ

# 憲法違反の法案！ 目、耳、口をふさぎ 戦争する国はごめん

パンフ好評発売中！  
「国民の目・耳・口をふさぐ  
これが秘密保護法」  
1部1000円  
赤旗日刊紙で連日報道  
ご購入ください。  
お申し込みは党地区事務所へ  
(72 2465)



**田中勝己**  
前木曾町長  
おおいに語る  
「未来に輝くまちづくり」

12月15日（日）午後1時～3時  
J Aフラワーパレス3階  
参加費500円 主催 のぞみの会

## 地蜂

「何が秘密かも秘密」、今年の流行語大賞になりそうなフレーズだ。特定秘密保護法案の国会の質疑を聞いてみると次々と問題点が明るみに。

から「イフクに大規模爆撃隊がある」とワソンの情報をもとに開戦を支持し、自衛隊まで派兵しました。日本のかつての侵略戦争も「大本営」発表で突き進んでいきました。今そんな危険がせまっています。

秘密保護法案は「新・治安維持法 悪法阻止へ運動と世論で」

だ。「悪法だ」と日弁連、日本ペンクラブ、民医連、日本消費者連盟、多くの漫画家、労働団体等が反対を表明。廃案・阻止への行動が急速に広がっています。各新聞も連日、社説などで反対の論陣をはり、世論調査も8割が反対になりました。

伊那でも医療、商工、労働、女性、青年などの団体が反対、阻止に立ち上がり、学習会や署名、30日午後3時半いなつせ北側広場の抗議行動などが強められています。(I)

演劇人、ジャーナリストや宗教者が立ち上がり一見平和産業だと思われている企業や労働組合も反対を表明した。もう半世紀も前、ソニーのビデオカメラが米軍のミサイルに使われていて話題になったことがある。作っている労働者はよもや軍事産業に手を貸しているとは思ってもないのに、これも秘密になるのでは。政府は大震災直後の原発事故の衛星画像を東京電力に隠していた、共産党の赤嶺政賢衆院議員の質問で認められた。防災、人命救助を優先しなければならぬ時に「秘密保全」が優先される。1944年45年の東南海・三河地震のように被害状況さえも秘密。御巣鷹山のジャンボ機墜落も墜落1時間後に米軍は現場を掌握していたのに日本側では翌朝ようやく機体発見。いま市民の闘いの成果で地方自治体では個人情報以外は情報開示が当たり前になっている。しかし国は国民の知る権利を奪い、目、耳、口をふさぐこととしている。治安維持法を復活させたような法律である。朝鮮戦争の時に警察予備隊結成、防衛庁、防衛省と格上げされ、憲法改悪が叫ばれ、そして維新などが与党に擦り寄る翼賛議会で「新たな治安維持法」。林百郎さんが健在なら「諸君、今が戦前だよ。今こそ立ち上がれ」と檄を飛ばすのではないか。今こそ秘密保護法反対の声を廃案にしよ。(北原)

# 「秘密保護法と改憲問題」を学ぶ 日本国民救援会

日本国民救援会長野県本部南信ブロック主催で「秘密保護法と改憲問題」の講演会が11月17日西箕輪の羽広荘で開かれ、約70人が参加しました。

講師は木島日出夫弁護士。

「国の安全保障のため」と言いながら、限りなき秘密の拡大と永久化が進められ、異常な重罰。自首した者の罪は軽くする「自首減免」という規定もあり、スパイが横行するようになる。裁判では秘密の中身が裁判官にしか知らされず裁

判が成り立たない、国会議員も調査活動が制約され、司法と国会が圧殺されることになる・・・とんでもない法律であり、こんなもの成立を許すわけにはいかな。世論の力ではね返そう！と訴えました。



廃案を訴える木島弁護士(中央)

## 来年の講師は吉原泰助さんに決定!

### 「原発と憲法を学ぶ集い」実行委員会開かれる

11月17日、伊那市振興公社で「原発と憲法を学ぶ集い」を成功させるための学習会と拡大実行委員会が行われ、20名余が参加しました。

原発と憲法をめぐる情勢についての学習があり、最初に昨年の「集い」の講師小出裕章さん(京都大学原子炉実験所助教)が9月11日に日比谷公会堂で行った講演の動画を視聴。小出さんは「今後、

福島原発の敷地は、放射性物質で汚染された沼のような状態になり、汚染水は増え続け、漏水も続く」と警告を発していました。

小牧崇さん(チエルノブイリ救援・中部代表)からは、国際原子力機関(IAEA)は核兵器の拡散を監視すると同時に原発等の推進をする役割をも負っているとのコメントがありました。

続いて野口俊邦さん(信州大学

## 第18次被災地支援隊行ってきました

上伊那地区委員会第18次被災地支援隊は、11月15日(17日に岩手県大槌町の仮設住宅を訪ね、お米・野菜などを届けました。

今回は、伊那市・辰野町・飯島町から男女5人が参加しました。

資金や物資のご協力ありがとうございました。



「みなし仮設住宅」でのお茶っ子風景

来年1月の党大会開催を前に党中央委員会は、10月に大会決議案を発表。現在、全党討議にかけています。

党支部などで読了会や討議が行われています。党事務所へ寄せられた感想や意見の中から一部を紹介します。

### 党大会決議案を読んで

去年7月、党に参加させてもらいました。党大会の長い決議案、かなりボリュームがあるもんだと戸惑いもありました。読み始めたらテレビや新聞では良くわからないことがわかりやすく書かれていて驚きました。

## 日本共産党第26回大会 来年1月に開催

安倍総理が狙っている秘密保護法やTPP問題、日本共産党が野党外交の発展に寄与していることなどあげきれない。落ち着いて読むと、どの項目もとても良くわかり誰もが願っている基本的なことばかりだと思えます。多くの人に理解し賛同していただくには苦勞しますね。

国民や党のために少しでも役に立ちたいと思います。(T・I)



「集い」の拡大実行委員会

# こじごが変、白鳥市政

## 前沢けいこ市議の市政報告・懇談会



11月16日、前沢けいこ市議の後援会は、市政報告・懇談会を荒井の室町ふれあい館で開き、16人が参加しました。

前沢議員から国民健康保険や介護保険、保育園の民営化など伊那市政の実態について報告がされました。

参加者からは「他県から引越してきた友人が、伊那市は水道料金が高いとが、子どもの医療費が窓口で無料ではないので子育てしにくいと言っている」「介護が必  
要な母がいるが、国民年金で入れる施設がなく困っている」など、切実な要求が出されました。

これに、前沢市議は、「市長は、市報の『たき火通信』などで人気取りをしているが、市民の声や職員の声には聞く耳を持たず、独断で物事を進めてしまっている。議会も軽視している。市政の問題点について、広く皆さんに伝えていくようにこれからも努力したい」と答えました。

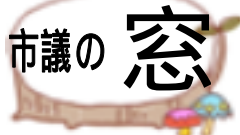
また、「今、党伊那市委員会がとりこんでいる 市民アンケート に市政への要請を書いて送ってください」との呼びかけもありました。

## 柳川ひろみ後援会で マレットゴルフ大会

11月4日の休日、市議柳川ひろみ後援会のマレットゴルフ大会が約30名の参加で榛原河川公園で行われました。

前夜来の雨を心配しましたが、曇っていて少し涼しいくらいのマレット日和でした。

熱戦が行われた後、会場を上新田公民館に移して入賞者の表彰を行い、トン汁を食べながら自己紹介、柳川議員に対する質問などなごやかに懇談しました。(T)



# 窓の市議

## 秘密保護法案は廃案に

柳川ひろみ

最近、私の居住している支部に新しい党員が4名参加していただき、支部会議で活発な話し合いが行われるようになって来ました。

秘密保護法案反対の署名や街頭宣伝も行っています。秘密保護法案については「よくわからない」という人もいます。「国民の知る権利をないがしろに

することは、民主主義社会を壊すこと。ある日突然、逮捕されるかも」という話をしていきます。多くの人に一刻も早く知らせ世論と運動で廃案に追い込みましょう。

今年には町内会の役員を引き受け、忙しい一年でした。地震や火事が起きれば一番に対応しなければと役員の大変さを感じました。



## 原発と憲法

建石繁明 5

先日、「原発と憲法を学ぶ集い」(来年5月3日の取り組み)の実行委員会があり、講師は元福島大学長の吉原泰助さんにお願ひすることになりました。

原発が人類と共存できないことは証明済みですが、原発マフィアは開発を続け、他国への輸出もしようとしている破廉恥ぶりです。

一方、憲法で保障されている基本的人権の表現の自由を反故にする「秘密保護法案」を廃案にしなければとの強い意見が出されました。日本を戦争のできる国にするための、検閲による表現の制限、これは正しく戦前の「弾圧の歴史の繰り返し」に繋がります。

人間が自由に生きる指針としての日本国憲法「人類のあるべき姿を具体的に指し示した規範を守らなければなりません。私の持論である「教育の貧困の解消」が、そのための処方箋です。平和に幸福に生きるためには、なぜかと問い、課題解決の「考える力の確立」が社会的に急務だと思えます。



聞き書き

歩いてきた道

西春近 赤沢 二郎 (83歳)

1945(S20)年1月、14歳で少年兵として神奈川県藤沢の航空隊に入隊しました。横須賀の基地に配属になったのですが、何の技術もなかったため、特攻機「月光」を修理する際にプロペラを回すお手伝いをしました。

敗戦(8月)間近の頃なので、空襲も多く、軍隊には食べるものが無かったため、近くの畑からサツマイモを盗んで食べました。将校でさえ、「この戦争、どう思っ」と聞く位、敗戦は目に見えていました。

戦後、中央大学の法科で弁護士を目指して勉強していたのですが、長男の兄が亡くなったため、やむなく帰ってきました。

西春近に党支部が無かったため、赤旗新聞も毎日、宮田まで取りに行つて配達しました。そんな中で、二人を誘つて党に迎え、西春近支部を作りました。

宮田村の駒ヶ根市への合併問題や発電所の水害闘争など、思い出はたくさんありますが、なんといっても一番の思い出は、百舌(林百郎さん)の選挙のことです。あちこちでやった演説会に百舌と一緒に歩いて回りました。百舌は話がうまく、機関銃のようにしゃべりました。

当時、西春近に春富座という居酒屋小屋があり、「君の名は」などの映画もそこで観ました。百舌が来た時には、その小屋がいっぱいになったものです。

選挙の時は、支部のみんなと一生懸命支持を訴えて歩きました。今は病を得てあまり活動できませんが、選挙の後「共産党書いたでネ」という電話が来るとうれしくなります。

(文責・市川浅)

絵手紙

会の手良絵手紙



実りの秋

今年の手良の文化祭に掲示された手良絵手紙の会「ふきのとう」の「実りの秋」。手良の山と手良で採れたくだもの、野菜などを縦1m、横2.5mに7名で描きました。

催し案内

「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時〜6時30分  
いなつせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会  
連絡先 医療生協組合員センター  
(7918702)

上伊那平和の集い

12月6日(金)午後6時30分開会  
南箕輪村民センター  
協力券1000円(高校生以下無料)

- ・原爆ハネル展示
- ・原水禁世界大会報告

・アニメ「はだしのゲン」上映  
主催 上伊那水協

(090)3558 5360 馬場)

上伊那母親連絡会  
(73)5360 山崎)

学習講演会

「日本の民主的改革と男女平等」  
そして「日本共産党」

講師 広井暢子さん

(日本共産党副委員長)

12月8日(土)午後2時〜4時  
「いなつせ」5階 参加費無料

主催

日本共産党上伊那地区委員会女性部  
日本共産党上伊那女性後援会

連絡先 民主会館(7212465)  
講演会「未来に輝くまちづくり」

講師 田中勝己前木曾町長  
12月15日(日)午後1時〜3時

JAFラワーパレス3階

資料代500円(含「講演録」)

主催 のぞみの会(74)5826 井口)